

宇都宮共和大学 都市経済研究センターの主な活動報告

2021 年度における都市経済研究センターの主な活動を報告します。

1 運営体制

名誉センター長 古池 弘隆
 センター長 田部井信芳
 副センター長 渡邊 瑛季
 運営委員長 渡邊 瑛季
 運営委員 内藤 英二・高丸 圭一・西山 弘泰

2 シンポジウム・講演会の開催

(1) シティライフ学講演会

テーマ 「ポストコロナの観光振興」—急回復する米国から栃木県観光復興の新戦略を考える—
 開催日 2021 年 6 月 16 日 (水)
 会場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス 604 中講義室
 講師 セントラルフロリダ大学

ローゼン・ホスピタリティ経営学部テニユア付准教授

本学シティライフ学部客員教授 原 忠之氏

参加者 19 名

3 宇都宮市民大学

(1) 令和 3 年度宇都宮市民大学専門講座学習プログラム (宇都宮共和大学連携講座)

テーマ 「これからの長寿・共生・循環型の社会を生きるために」
 会場 宇都宮市中央生涯学習センター

回	テーマ	開催日	講師	参加
1	北欧の高齢者福祉政策	6 月 3 日 (木)	シティライフ学部 内藤英二 教授	15 名
2	人生 100 年時代のキャリア論	6 月 10 日 (木)	子ども生活学部 今村麻子 准教授	15 名
3	共生社会の構築と フリーライダー問題	6 月 17 日 (木)	シティライフ学部 和田佐英子 教授	14 名
4	イスラームと子どもの生活 ～保育現場における共生への模索～	6 月 24 日 (木)	子ども生活学部 星順子 准教授	12 名

5	循環型経済のすすめ ～3R(Reduce, Reuse, Recycle)を超えて～	7月1日 (木)	シティライフ学部 古池弘隆 特任教授	13名
6	子どもと自然環境 ～豊かな自然環境を 次世代につなぐために～	7月8日 (木)	子ども生活学部 桂木奈巳 教授	13名

4 那須塩原市民大学

(1) 令和3年度那須塩原市民大学地域いきいき学部

「何だろくに答える, やさしい入門講座」(宇都宮共和大学連携講座)

テーマ 「これからの暮らしと経済」

会場 宇都宮共和大学 那須キャンパス

【前期第1回】

テーマ ポストコロナ社会って何だろく～パンデミックは社会をどう変えたのか～

開催日 2021年6月3日(木)

講師 シティライフ学部 森 寛史 特任教授

参加者 12名

【前期第2回】

テーマ 「経済政策って何だろく」～政府の力で景気はよくなるのか～

開催日 2021年6月10日(木)

講師 シティライフ学部 今 喜史 専任講師

参加者 9名

(2) 那須塩原市民大学運営委員会

那須塩原市が設置した「令和3年度那須塩原市民大学運営委員会」において, シティライフ学部内藤英二教授が運営委員を務めました。

5 栃木県生涯学習課「とちぎ子どもの未来創造大学講座」

テーマ 「Stone Craft ～オリジナル大谷石グッズを作ろう～」

期 日 2021年8月7日(土)

会場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス 604 中講義室

講師 シティライフ学部 西山 弘泰 専任講師

3年西山ゼミ学生(漆原黎・小田京怜・小松大騎)

対 象 小学4～6年生と保護者

参加者 親子 16 組 32 名

6 講師派遣制度

(1) 第1回講師派遣

名 称 社会人向け創造的キャリア形成プログラム「まちなか大学」
主 催 宇都宮市創造都市研究センター
期 日 2021年10月30日(土)
テーマ 「都市に埋め込まれた身近な歴史を掘り起こし発信する～「シテイクエスト in 宇都宮」の実践例から～」
講 師 シティライフ学部 西山 弘泰 専任講師
会 場 宇都宮市まちづくり交流センターイエローフィッシュ
参加者 9名

(2) 第2回講師派遣

名 称 東武百貨店文化講座
主 催 東武宇都宮百貨店
共 催 宇都宮共和大学・宇都宮短期大学
期 日 2021年11月8日(月)・22日(月)
テーマ 「変わる宇都宮のまちと交通」
講 師 シティライフ学部 古池 弘隆 特任教授
会 場 東武宇都宮百貨店

(3) 第3回講師派遣

主 催 NPO 法人都市工会 自主公開講座「都市工塾」実行委員会
期 日 2021年11月29日(月)
テーマ 「宇都宮市のまちづくり、L R Tのこれまでとこれから～ネットワーク型コンパクトシティを目指して～」
講 師 シティライフ学部 古池 弘隆 特任教授
会 場 オンライン

(4) 第4回講師派遣

名 称 宇都宮市創造都市研究センター第6回FD・SD研修会
主 催 宇都宮市創造都市研究センター
期 日 2022年2月28日(月)
テーマ 「L R Tによる宇都宮都市圏のまちづくり」
講 師 シティライフ学部 古池 弘隆 特任教授

会 場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス 604 中講義室, オンライン

参加者 48 名

7 共同研究

(1) 件名 「城山地区の地域・観光振興に関する研究」

(2) 研究班の構成

- ・研究代表者 渡邊 瑛季 (宇都宮共和大学専任講師)
- ・共同研究員 西山 弘泰 (宇都宮共和大学専任講師)
- 〃 吉野 清史 (宇都宮共和大学客員研究員)
- 〃 三浦 魁斗 (宇都宮共和大学客員研究員)

(3) 研究期間 2021 年 4 月～2022 年 3 月

(4) 研究成果 本誌に記載

8 宇都宮市創造都市研究センター

宇都宮市創造都市研究センターは、宇都宮市内の私立 4 大学 (宇都宮共和大学・作新学院大学・帝京大学宇都宮キャンパス・文星芸術大学) と自治体・産業界等が連携し、宇都宮都市圏の創造都市による発展を目指し、2017 年 10 月に設立されたプラットフォームです (センター長: 宇都宮共和大学長 須賀英之)。本事業は、文部科学省の「私立大学等総合改革支援事業」タイプ 3 (プラットフォーム形成) に選定されています。

運営委員: シティライフ学部 西山 弘泰 専任講師, 渡邊 瑛季 専任講師

9 とちぎ観光資源活用研究会

とちぎ観光資源活用研究会は、産学官連携サテライトオフィスが観光問題に関心を持つ栃木県内の大学等の研究者をコーディネートすることによって、2005 年 6 月に組織されました。異分野の多種多様な人材を連携・融合して、単なるアカデミックな研究だけではなく、研究成果が政策に活かされる提言を目指しています。大学・高専の教員、シンクタンク等に勤務する研究員などを会員とし、2018 年度から都市経済研究センターの内藤英二が世話人を務めています。

(1) 第 79 回とちぎ観光資源活用研究会

期 日 2021 年 4 月 30 日 (金)

会 場 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス教育厚生棟 2 階, オンライン

講 師 寺内 由佳 氏 (宇都宮共和大学シティライフ学部非常勤講師)

テーマ 「歴史学とまちづくり・観光—都市史研究の視点と可能性—」

参加者 4 名

(2) 第 80 回とちぎ観光資源活用研究会

期 日 2021 年 8 月 27 日 (金)

会 場 オンライン

テーマ 「研究会の今後の進め方について」

参加者 7名

(3) 第81回とちぎ観光資源活用研究会

期 日 2021年12月24日(金)

会 場 オンライン

テーマ 「研究会の今後の進め方について」

参加者 7名

10 地域産学官連携活動

以下の各委員会等において渡邊瑛季が都市経済研究センター副センター長・運営委員長として委員を務め、地域産学官連携事業の対外窓口業務を展開しました。

- ・大学コンソーシアムとちぎ 産学官連携サテライトオフィス事業委員会 委員
- ・大学コンソーシアムとちぎ 第18回学生 & 企業研究発表会実行委員会 委員
- ・公益財団法人栃木県産業振興センター とちぎ産業振興ネットワーク推進会議 委員
- ・宇都宮市経済部産業政策課 うつのみや次世代産業イノベーション推進会議 委員
- ・宇都宮市教育委員会生涯学習課 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会 委員
- ・大谷グリーン・ツーリズム推進協議会

11 刊行物

『宇都宮共和大学都市経済研究センター年報2022 第22号』2022年5月発行

12 学生支援

(1) 学内研修

シティライフ学部1・2年生を対象とした学内研修におけるまちあるきの実施方法・教材作成(まちあるきマップ, 対象地域設定, まちなかにある物のリスト作成), 成果集約の手法(成果展示用ポスターの作り方)を, 都市経済研究センター各委員が指導した(写真1)。

日時: 2021年4月28日(水)



写真1 教員による説明

(2) 那須塩原市議会主催「なしおふれあいトーク」への学生参加支援

那須塩原市議会より、那須塩原駅新市庁舎の建設が計画されている那須塩原駅西口エリアの活性化策について、本学シティライフ学部学生のアイデアを参考としたいとの依頼があった。都市経済研究センターが那須塩原市との連絡調整を行うとともに、参加学生の募集、実施方法の策定、また前日の那須塩原駅前の事前視察を実施した。

(3) 宇都宮市主催「大学生によるまちづくり提案 2021」に向けた学内合同リハーサル

標記発表会にシティライフ学部から出場するゼミナールが多いことから、都市経済研究センターが、標記発表会前日に学内での合同リハーサルを主催した。

1. 日時・会場

2021年12月16日（木）14時～15時

於：宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス 402 大講義室

2. 目的

実際に発表予行を行うことで、発表手順や注意事項を確認し、プレゼンテーションのブラッシュアップにつなげるとともに、翌日の出場に向けて意欲を高める。

3. 参加団体と提案名

提案団体	提案名
3年高丸ゼミ	宇都宮スマートライフポータル～生活の利便性を向上させる情報利活用基盤
陣内ゼミ	私たちの未来予想図デジ宮
内藤ゼミ	私たちが造る宇都宮らしさー『教えてミヤリー』でスマートなUTSUNOMIYAに
2年渡邊ゼミ	大谷をワーケーションで活性化しよう
2年高丸ゼミ	若者の望みがスマートに叶うまち～データサイエンスを利用したニーズ分析～